

海辺の湯 金谷店

Umibenoyu
(千葉県富津市)



今回紹介するのは富津市にある「漁師料理・かなや」に併設された温泉「海辺の湯」である。

インターネットの検索で「千葉」「海鮮」「温泉」で検索すると、かなやがヒットする。一度は千葉の房総半島で海鮮料理を食べたいと思っていたのだが、ただ食べに行くだけではもったいない。そこで、温泉取材とセットにすることになった。

かなやの近くには富津岬や鋸山といった観光地もある。富津岬の展望台は工事中につき立ち入り禁止であったが、鋸山の百尺観音、大仏、地獄のぞきは圧巻であった。

温泉に入る前にとりあえず海鮮を食べる。海の幸の料理なら刺身、天ぷら、フライ物、焼き物、煮物、浜焼き、海鮮丼などなんでもありのかなや。どれにするか悩ましい。意外にも脇役の「かじめ」という海藻がここの名物のようだ。ねばねばとした食感が特徴だ。

温泉は建物の2階にある。2階のエレベーター前にある下駄箱は192個、貴重品ロッカーは20個ある。フロント前の券売機で買ったチケットと下駄箱の鍵をフロントに渡すと、脱衣室のロッカーのカギを受け取れる。JAF割引があるので、会員は会員証をお忘れなく。

脱衣室にはロッカーが87個。洗面台3個、ドライヤー3個、綿棒、ハンドソープ、「うるるん」という商品名のスキンローションがある。

浴室には洗い場が1か所。リンスインシャンプー、コンディショナー、ボディソープの3点セットは具備されている。カランは自閉式で、湯の水圧は少々低い。

内湯の浴槽の湯は褐色。湯温は適温で定員は15人ほどであろうか。隅には電気風呂もある。サウナは

定員 9 人で室内温度 86℃。水風呂は定員 2 人で、水温はマイナスを示しているが、まさかそれほど冷たくはない。露天風呂は定員 10 人ほどで、やはり褐色の湯で適温だ。露天風呂からは海が見える。

おいしい海鮮料理の後に温泉を楽しめるとは実にありがたい。海辺の湯は、この富津の他に、横須賀にもあるという。ぜひ機会を見て取材してみたい。



富津岬の展望台



鋸山の地獄のぞき



鋸山の百尺観音



鋸山の大仏

取材レポート

DATA

名称	天然温泉 海辺の湯 金谷店
所在地	千葉県富津市金谷 525-17
電話	0279-98-0511
営業時間	平日 10:00~20:30 (最終受付 20:00) 土日祝日 9:00~21:00 (最終受付 20:30)
定休日	無休
平日入浴料	大人 850 円 (入浴料 700 円+入湯税 150 円)、小学生 400 円、小学生未満 250 円
土日祝日入浴料	大人 950 円 (入浴料 800 円+入湯税 150 円)、小学生 450 円、小学生未満 250 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
泉質	ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・炭酸水素塩冷鉱泉 (低張性弱アルカリ性冷鉱泉)
効能	関節リウマチ、変形性関節症、腰痛、神経痛、五十肩、打撲、捻挫、運動麻痺 胃腸機能の低下、軽症高血圧、糖尿病、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性 病後回復期、疲労回復、健康増進、動脈硬化、きりきず、抹消循環障害、皮膚乾燥
取材日	2023 年 3 月 21 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし